

【はじめに】

徳島県は京阪神市場 1 位のタラノメ産地であるが、芽が太く鮮緑色かつ立枯疫病に強い品種が求められていたため、高品質かつ多収性の「阿波たろう」、立枯疫病抵抗性の「阿波の銀次郎」を育成した。しかし、これら新品種はとげが多く、原木の伐採、運搬、駒切り、伏せ込み、収穫などタラノメふかし栽培の全工程で障害となっているため、簡易なタラノキとげ取り器（ハンディタイプU型）を開発した。

【成果の内容・特徴】



図1 とげ取り作業の様子

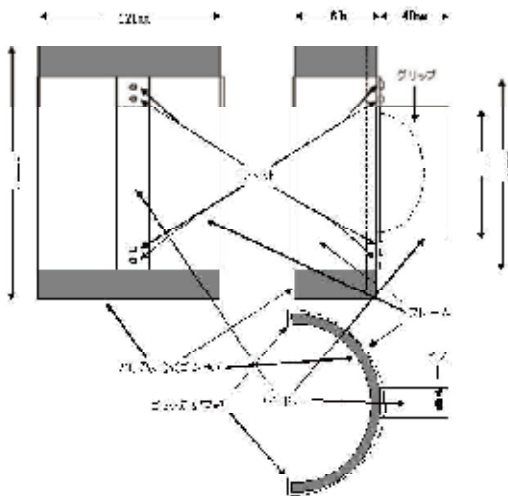


図2 開発したとげ取り器の見取り図

1. 本開発器は、フレーム内側のゴム板でタラノキを地際から擦り上げることで、芽を傷つけずにとげを除去できる。とげ取り部を U 字型とし、一度により多くのとげと接触、作業中に器具が外れにくくしたので、効率よくとげが取れる（図 1, 2）。
2. 本器は、U 字型に丸めたアルミ板(1 mm 厚)をフレームとし、外側中央部にハンドルを付け、フレーム両端を内側に折り曲げ 5mm 厚ゴム板を挟み込んで固定したもので、重量は 300g、材料費は 800円である。ゴム板は原木約 300 本処理可能で、摩耗したゴム板は、マイナスドライバーなどで折り曲げ部を広げてゴム板を取り替え、ペンチなどで挟み締めることで容易に交換できる（表 1, 図 2）。
3. とげ取り性能は、原木（長さ約 2.5m）1 本あたり処理時間は 20 秒、擦り上げ回数は 22 回である。作業時の心拍数は、ピーク時で安静時の+15.4%と作業負荷が軽く、処理した原木でふかし栽培したタラノメに障害はみられず、品質への影響がない（表 2）。

表1 タラノキとげ取り器ハンディタイプU型仕様

材質	とげ取り部	5 mm厚ゴム板
	フレーム	アルミ板曲げ加工
	ハンドル	アルミ板折曲加工
	グリップ	杉材
接合	フレーム+ハンドル	リベット 2カ所 4本
	ハンドル+グリップ	ビス 2カ所
重量		300 g
部材費		800円
交換用ゴム板		150円

表2 ハンディタイプU型の性能

作業能率	20秒/原木 1本
擦り上げ回数	22回/原木 1本
心拍数増加率(%)	15.4%
ふかし芽の障害	無

51歳男性，4年生緩傾斜圃場，10本作業後における調査

【おわりに】

本開発器は、伐採前の立木に使用して一人でとげ取り作業ができ、その結果ふかし作業でのとげによる障害がなくなる。また、単位面積あたりの伏せ込み本数が増加し、施設利用効率も向上する。材料の入手、製作は農家の方でも可能なのでぜひ活用していただき、新品種の増産、県産タラノメのブランド確立に努めていただきたい。

(農産園芸研究課 高木一文・経営研究課 佐藤泰三)